

高井 裕之
法学研究科・教授

【研究】

「アメリカにおける連邦法による州法の専占をめぐる議論の一断面」を『比較憲法学の現状と展望 初宿正典先生古稀祝賀』に寄稿し9月に公刊された。畑博行ほか編『世界の憲法集』の第5版への改版に際し拙稿「アメリカ合衆国憲法」も加筆修正した。小畑郁ほか編集『ヨーロッパ人権裁判所の判例』所収の拙稿(判例評釈)「婚外子(姦生子)に対する相続分差別」が公刊された。

【教育】

法学研究科博士前期課程で指導した学生のうち1名に修士の学位を取得させたほか、後期課程学生2名を指導した。同研究科で春～夏学期に「憲法2」を担当し、英語文献を講読し学生の外国法研究の基礎の涵養に努め、秋～冬学期に「総合演習(比較人権論)」で国内外の判例の研究を指導した。法学部では秋～冬学期に「憲法入門」を担当し、主として法学部1年生に憲法に関する基礎的な知識や考え方の教育を行ったほか、各学期に法学部国際公共政策学科「セミナーⅣ ab」を担当し、憲法ないし国際人権法の諸論点を取り上げて検討した。また、秋～冬学期に同学部の科目「特別講義(日本における公法と私法の争点1)」の一部(4回)を担当し英語でわが国の主要な憲法問題を解説した。全学共通教育科目としては春～夏学期に「日本国憲法」で憲法に関する一般教育を行い、秋～冬学期に「現代の医療と生命を考える」で主として法的な観点から生命倫理問題等を取り上げ検討した。高等司法研究科で春～夏学期に隔週で「公法総合演習」の授業を行い3年生の憲法に関する応用力の増進を図った。

【管理運営】

国際公共政策研究科協力講座を担当し、同研究科の教授会に出席し、同研究科の運営に協力した。歯学部附属病院診療情報提供委員会の委員を務めた。全学の入試委員会委員として入学試験の運営等に関する事項の審議に参加し、また、1月の大学入試センター試験や2月の個別学力試験の実施業務を担当した。法学研究科・高等司法研究科評価室長を務め、1月の法学研究科外部評価委員会の開催を準備し、事後に記録のとりまとめに当たったほか、本研究科の評価に関する業務を担当した。年度後半には、法学研究科運営委員会委員を務めた。

【社会貢献】

大阪市立大学医学系研究等倫理審査委員会および大阪市立大学臨床研究審査委員会の外部委員を務めた。